

分野別施策・指標評価表（脳卒中対策）

資料2-1

番号	C 個別施策						
予防	指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
	〔脳C-101〕市町村等の保健指導担当者の技術向上支援						
	脳P-301	保健指導担当者に対する研修会の開催数	R4 年度 5 回	R3 年度 —	R4 年度 5 回	R5 年度 5 回	→ R11 年 5 回
	〔脳C-102〕県民に対する生活習慣病の予防及び正しい知識の普及、啓発						
	脳P-302	県民向けの講座・イベントの実施回数	R4 年度 4 回	R3 年度 —	R4 年度 4 回	R5 年度 5 回	→ R11 年 5 回
	〔脳C-103〕特定健診未受診者への受診勧奨の実施						
	脳P-303	特定検診受診率 市町村国保 協会けんぽ	R3 年度 32.8% 59.8%	R2 年度 32.1% 57.7%	R3 年度 32.8% 59.8%	R4 年度 34.5% 64.2%	→ R11 年 60% 65%
	〔脳C-104〕特定健診・特定保健指導の実施						
	脳P-304	特定保健指導実施率 市町村国保 協会けんぽ	R3年度 62.3% 31.1%	R2年度 61.3% 27.0%	R3年度 62.3% 31.1%	R4年度 61.9% 24.5%	→ R11年 現状より向上 35%
	〔糖C-105〕脂質異常症患者の外来受療の促進						
	脳P-305	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	R2 年度 40.9	H30年度 —	R1 年度 —	R2 年度 40.9	→ R11 年度 67.7

救護	指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
	〔脳C-201〕県民に対する脳卒中の症状、発症時の対処法の普及、啓発						
	脳P-306	市民公開講座、メディアを使った啓蒙活動の実施数	R4 年度 4 回	R3 年度 —	R4 年度 4 回	R5 年度 6 回	→ R11 年 現状より向上
	〔脳C-202〕救急搬送時の病院前脳卒中スケールの実施						
急性期	脳P-307	救急搬送時の病院前脳卒中スケールの実施消防機関数	R4 年度 15 箇所	R3 年度 —	R4 年度 15 箇所	R5 年度 15 箇所	→ R11 年 18 箇所

急性期	指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
	〔脳C-301〕t-PAや外科手術、脳血管内手術が24時間速やかに実施できる連携体制の整備						
	脳S-301	遠隔診断補助及び搬送の連携体制構築実施数（北部、宮古、八重山圏域）	R4 年度 O圏域	R3 年度 O圏域	R4 年度 O圏域	R5 年度 O圏域	→ R11 年 3圏域
	脳S-302	脳神経外科医の数	R4 年度 北部 0 中部 8 南部 33 宮古 2 八重山 1	R3 年度 北部 — 中部 — 南部 — 宮古 — 八重山 —	R4 年度 北部 0 中部 8 南部 33 宮古 2 八重山 1	R5 年度 北部 0 中部 9 南部 25 宮古 1 八重山 1	→ R11 年度 全ての医療圏で提供が可能な体制を確保
			R4 年度 北部 0 中部 4 南部 13 宮古 0 八重山 0	R3 年度 北部 — 中部 — 南部 — 宮古 — 八重山 —	R4 年度 北部 0 中部 4 南部 13 宮古 0 八重山 0	R5 年度 北部 0 中部 6 南部 3 宮古 1 八重山 0	→ R11 年度 全ての医療圏で提供が可能な体制を確保
			R4 年度 北部 0 中部 4 南部 7 宮古 1 八重山 1	R3 年度 北部 — 中部 — 南部 — 宮古 — 八重山 —	R4 年度 北部 0 中部 4 南部 7 宮古 1 八重山 1	R5 年度 北部 0 中部 4 南部 8 宮古 1 八重山 1	→ R11 年度 全ての医療圏で提供が可能な体制を確保
			R4 年度 北部 0 中部 3 南部 7 宮古 1 八重山 1	R3 年度 北部 — 中部 — 南部 — 宮古 — 八重山 —	R4 年度 北部 0 中部 3 南部 7 宮古 1 八重山 1	R5 年度 北部 0 中部 1 南部 5 宮古 1 八重山 1	→ R11 年度 全ての医療圏で提供が可能な体制を確保
	脳S-303	脳神経内科医の数	R4 年度 北部 0 中部 4 南部 13 宮古 0 八重山 0	R3 年度 北部 — 中部 — 南部 — 宮古 — 八重山 —	R4 年度 北部 0 中部 4 南部 13 宮古 0 八重山 0	R5 年度 北部 0 中部 6 南部 3 宮古 1 八重山 0	→ R11 年度 全ての医療圏で提供が可能な体制を確保
			R4 年度 北部 0 中部 4 南部 7 宮古 1 八重山 1	R3 年度 北部 — 中部 — 南部 — 宮古 — 八重山 —	R4 年度 北部 0 中部 4 南部 7 宮古 1 八重山 1	R5 年度 北部 0 中部 4 南部 8 宮古 1 八重山 1	→ R11 年度 全ての医療圏で提供が可能な体制を確保
			R4 年度 北部 0 中部 3 南部 7 宮古 1 八重山 1	R3 年度 北部 — 中部 — 南部 — 宮古 — 八重山 —	R4 年度 北部 0 中部 3 南部 7 宮古 1 八重山 1	R5 年度 北部 0 中部 1 南部 5 宮古 1 八重山 1	→ R11 年度 全ての医療圏で提供が可能な体制を確保
			R4 年度 北部 0 中部 2 南部 6 宮古 1 八重山 0	R3 年度 北部 — 中部 — 南部 — 宮古 — 八重山 —	R4 年度 北部 0 中部 2 南部 6 宮古 1 八重山 0	R5 年度 北部 0 中部 1 南部 5 宮古 1 八重山 0	→ R11 年度 全ての医療圏で提供が可能な体制を確保

※未報告の医療機関があるため暫定

回復期	指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
	〔糖C-401〕急性期入院時から急性期リハビリテーションの提供						
	脳P-308	急性期リハビリテーションの提供単位数（単位数/日・人）	R4 年度 3.41	R3 年度 —	R4 年度 3.41	R5 年度 3.86	→ R11 年度 2.8
	〔糖C-402〕回復期リハビリテーション病棟での専門的、集中的なリハビリテーションの提供						
急性期	脳S-307	回復期リハビリテーション病棟が整備されている二次医療圏数	R4 年度 4	R3 年度 —	R4 年度 4	R5 年度 4	→ R11 年度 5

維持期	指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
	〔脳C-501〕切れ目なく必要な治療、リハビリテーション及び介護サービスが提供される連携体制の構築						
	脳P-309	おきなわ脳卒中地域連携バスを実施している急性期病院数	R4 年度 11 施設	R3 年度 —	R4 年度 11 施設	R5 年度 11 施設	→ R11 年度 現状より増加
	〔脳C-502〕多職種が連携した療養支援の体制の構築						
	脳P-204	おきなわ療養ネットワークの脳卒中登録件数	R4 年度 7492 件	R2 年度 6055 件	R4 年度 7492 件	R5 年度 8210 件	→ 新規発症者の全例登録
	〔脳C-503〕院内又は院外の歯科医師等との連携による口腔管理の実施						
急性期	脳P-311	脳卒中による入院と併用で摂食嚥下機能療法を実施された患者数（レセプト件数）	R3 年度 2147 件	R2 年度 —	R3 年度 2147 件	R4 年度 1941 件	→ R11 年度 現状より増加
	脳P-312	歯科医師連携加算（栄養サポートチーム加算）レセプト数	R3年度 1776 件	R2年度 —	R3年度 1776 件	R4年度 1822 件	→ R11年度 現状より増加

社会生活	指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
	〔脳C-601〕高次脳機能障害者への専門的相談、リハビリテーションの実施						
	脳P-313	高次脳機能障害支援拠点機関の相談支援件数	R4 年度 1332 件	R3 年度 1240 件	R4 年度 1332 件	R5 年度 1026 件	→ R11 年度 現状より増加

番号	B 中間アウトカム						
指標項目		基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
(脳B-101)脳血管疾患の危険因子の改善							
脳O-101	危険因子の有見率	R1 年度	H29年度	R1 年度	R2 年度		R11年
	BMI(25.0以上)	40.0%	38.9%	40.0%	40.3%	→	29.0%
	収縮期血圧(140以上)	19.3%	170.6%	19.3%	20.6%	→	17.1%
	拡張期血圧(90以上)	13.3%	11.9%	13.3%	14.0%	→	12.8%
	空腹時血糖(126以上)	6.8%	6.7%	6.9%	6.7%	↓	5.9%
	HbA1c(6.5以上)	8.4%	7.9%	8.4%	8.3%	↓	7.2%
	中性脂肪(150以上)	23.2%	20.9%	23.2%	22.6%	↓	20.2%
	LDLコレステロール(140以上)	30.1%	28.1%	30.1%	30.0%	↓	現状より低下
HDLコレステロール(40未満)	4.8%	4.9%	4.8%	4.8%	→	4.2%	
心電図	32.5%	—	32.5%	34.6%	→	32.0%	

指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
〔糖B-201〕脳卒中の急性期医療が確保されている						
脳P-201	t-PA実施数	R4 年度 102 件	R3 年度 86 件	R4 年度 102 件	R5 年度 135 件	→ 現状より向上
脳P-202	血管内治療の実施件数	R4 年度 377 件	R3 年度 —	R4 年度 377 件	R5 年度 218 件	→ 現状より向上

※未報告の医療機関があるため暫定

指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
〔脳B-301〕質の高いリハビリテーションの提供体制の確保						
脳P-203	FIM利得数	R2 年度 25.2	R2 年度 25.2	R3 年度 —	R4 年度 25.5	→ 現状より向上

指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
〔脳B-401〕在宅復帰後も切れ目なくリハビリテーションを受けることができています						
脳P-204	介護保険によるリハビリテーションの提供数（千単位数/年・人）	R3年度	R2年度	R3年度	R4年度	→ R11年度
		0.8	0.9	0.8	0.9	→ 現状より増加
		12.1	11.4	12.1	11.1	→ 現状より増加
		12.1	11.4	12.1	11.1	→ 現状より増加

指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
〔糖B-501〕脳卒中患者及び家族へ相談、支援が行われている						
脳P-205	脳卒中相談窓口での相談対応件数	R4 年度 102 件	R3 年度 —	R4 年度 102 件	R5 年度 99 件	→ 現状より増加

※未報告の医療機関があるため暫定

番号	A 分野アウトカム						
急性期	指標項目	基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
	〔脳A-101〕脳血管疾患患者の発症数が減少している						
	脳O-101	脳血管疾患の入院件数	R2 年度 4411 人	R2 年度 4411 人	R3 年度 —	R4 年度 4249 人	→ 現状より低下
	〔脳A-101〕脳血管疾患患者の発症数が減少している						

指標項目		基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
(脳A-201)脳血管疾患患者の年齢調整死亡率が低下している							
糖O-102	脳血管疾患患者の年齢調整死亡率(人口10万人あたり)	R2 年度 男性 99.9 女性 52.4	H22年度 48.4 22.4	H27年度 38.1 17.5	R2 年度 男性 99.9 女性 52.4	— —	R11年度 93.8 現状より低下
		(男性) 70-74歳 131 65-69歳 100 60-64歳 59.0 55-59歳 61 50-54歳 30 45-49歳 15 40-44歳 29	— — — — — — —	— — — — — — —	(男性) 70-74歳 131 65-69歳 99.5 60-64歳 59.0 55-59歳 60.6 50-54歳 30.1 45-49歳 14.8 40-44歳 28.5	— — — — — — —	R11 現状より低下 85.3 53.9 35.6 26.4 現状より低下 10.9
参考	脳血管疾患患者の性・年齢階級別死亡率(人口10万人あたり)	(女性) 70-74歳 57 65-69歳 23 60-64歳 18 55-59歳 20 50-54歳 24 45-49歳 13 40-44歳 10	— — — — — — —	— — — — — — —	70-74歳 56.8 65-69歳 22.9 60-64歳 17.6 55-59歳 20.4 50-54歳 23.8 45-49歳 13.3 40-44歳 10.2	— — — — — — —	現状より低下 現状より低下 現状より低下 15.8 14 9.2 4.9
		(男性) 70-74歳 131 65-69歳 100 60-64歳 59.0 55-59歳 61 50-54歳 30 45-49歳 15 40-44歳 29	— — — — — — —	— — — — — — —	(女性) 70-74歳 56.8 65-69歳 22.9 60-64歳 17.6 55-59歳 20.4 50-54歳 23.8 45-49歳 13.3 40-44歳 10.2	— — — — — — —	現状より低下 現状より低下 現状より低下 15.8 14 9.2 4.9
参考	脳内出血の年齢調整死亡率(人口10万人あたり)	R2 年度 男性 34 女性 18	H30年 —	R1 年度 —	R2 年度 男性 33.6 女性 18.3	— —	R11 31.9 16.3

指標項目		基準年	直近の前々年	直近の前年	直近	結果	目標
(脳A-301)脳血管疾患患者が在宅復帰できている							
糖O-103	在宅等生活の場へ復帰できた患者の割合	R2 年度	—	H29年度	R2 年度		R11年度
		沖縄県 48.8	沖縄県 —	沖縄県 52.1	沖縄県 48.8	—	
		北部 52.1	北部 —	北部 42.9	北部 52.1	—	
		中部 43.5	中部 —	中部 45.4	中部 43.5	—	54.4%
		南部 51.8	南部 —	南部 48.3	南部 51.8	—	(全国平均並みへ改善)
		宮古 70.8	宮古 —	宮古 48.1	宮古 70.8	—	
		八重山 25.0	八重山 18.8	八重山 34.4	八重山 25.0	—	